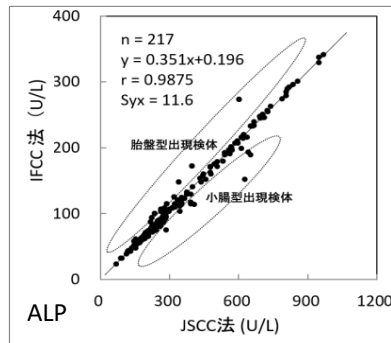


お知らせ

先日、お知らせしました通り4月1日ご依頼分よりALP、LDの測定法がJSCC法(日本臨床化学会)からIFCC法(国際臨床化学連合)へ変更になっております。

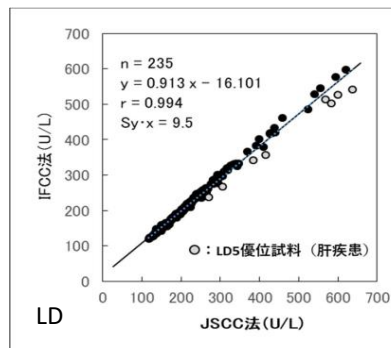
☆なぜ変更するのか？

以下のような理由により日本のALP、LD測定値は国際的な治療指針や治験データとして利用する場合に支障をきたしているためです。



・ALP

我が国のALP測定法(JSCC法)は小腸型のALPの反応性が高い試薬処方が採用されており、血液型がB型、O型の一部では病気とは無関係に血中に小腸型ALPが出現することから臨床的意義が認められない高値が出現する場合があります。また、胎盤型ALPは小腸型とは逆にIFCC法に比べてJSCC法では反応性が低いという特徴があります。



・LD

我が国のLD測定法(JSCC法)はアイソザイムのLD5が相対的に高く測定されます。これに対して海外ではLD1とLD5が同等に測定されるIFCC法が用いられています。そのためJSCC法ではLD5の割合が高い症例ではIFCC法より高値傾向を示します。

☆変更によるメリット

- ・ALPの疾患と無関係の上昇が軽減し、肝・骨疾患の臨床的意義が向上します。
- ・海外と同一の測定法となることから世界的に情報共有が可能となり、治療ガイドラインの有用性が向上します。

☆基準範囲について

- ・ALP 成人男女:38~113 U/L
- ・LD 変更前後の測定値の差が軽微であり許容誤差範囲内の変化であるため基準範囲の変更はありません。

虹 ~ Rainbow ~

明日への架け橋

2021.4.30

春風が心地よい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？この度、コスモス病院検査部では、高野技師長の定年に伴い部門長の交代がありましたので御挨拶させていただきます。



令和3年4月1日よりコスモス病院検査部の部門長に就任しました新名 洋明(にいな ようめい)と申します。

コスモス病院に入職し19年間、生理検査室での業務を主軸に臨床検査技師として研鑽を積んでまいりました。

高野前技師長が大切にしてきたマインドを受け継ぎ

コロナ禍ではありますが、スタッフ全員がいつも笑顔で地域医療に貢献できるような環境作りをしていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

【趣味】・ギターをジャカジャカ弾いて子供に歌ってもらうこと♪

・世間のアウトドアブームに便乗し、子供たちと庭でテントを張ったり、BBQしたり、優雅に珈琲を淹れたりしております☺

～退任の御挨拶～

私は、このたび3月31日をもちまして技師長職を退任いたしました。平成14年に就任して以来、皆様方の温かいお力添えのおかげで 私なりに充実した仕事の時間を過ごすことができました。心から感謝いたしお礼申し上げます。これまでに得た貴重な経験を生かして、これからは後進をサポートしながら一般職として勤めさせていただきます。今後とも変わらぬご指導を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。 高野 昭次